

危機対策本部会議

日 時：令和2年3月31日（火）10：58～11：45

場 所：3号館3階会議室

内 容：

■帰国学生について

- ・濃厚地域からの帰国者については、24日間の自宅待機としていたが、14日を経過する4月3日問診（保健センター長、学務政策課）により「解除」等を判断する
- ・留学生へ指導するため、感染対策マニュアルに「ルールを守らない場合の取り扱い」を検討する
- ・帰国者の定期報告（体調管理）を担当教員より、保健センター、国際班へ転送し情報を共有する
- ・韓国へ帰国した附属高校の生徒は、来日の目途が立っていないが、大学の帰国後対応にそって対応する

■入学式について

- ・入学式は、各コースで実施し、学長が各コースを回って入学許可を読み上げる
- ・受付は、本館前にテントを2張り立てて、実施
- ・テント前に「体調不良や熱がある人は申し出る」旨の掲示をし、申し出があった場合は、本館談話室で保健センターが対応する
- ・保護者については、送迎で同行するかもしれないが、キャンパス内には入れない（正門等に人を配置し対応する）
- ・附属高校は、新入生登校日を4月6,7日に校舎多目的教室で行い、物品販売はエントランスなど屋外で実施
- ・附属高校の入学式4月8日は、体育館に入学生と保護者（2名まで）でマスク着用、消毒液設置、来賓は学内のみ

■オリエンテーションについて

- ・学科オリエンテーションのはじめに、海外渡航の確認をし、注意喚起やスマートフォンでできるアンケートを実施する
- ・教務課より式次第や窓の喚起、教室の席を空けて座らせるなどの注意事項をメールで全教員へ配信する
- ・附属高校の宿泊研修は中止

■講義について

- ・教員へ配慮いただく内容やQ&Aをまとめ、4月1日教員（非常勤講師含む）へ配信
→ 会議後、消毒方法をアルコールに「次亜塩素酸ナトリウム」を追加し修正
- ・通常通りの講義とするが、部屋の広さと受講生数（見込み）で確認し、教室変更を調整する
- ・また、遠隔授業の検討も進め、感染者が出た場合に備えておく
- ・別科については、4月20日講義開始で講義日数の関係で休日も一部実施。講義開始に間に合わない場合の対応としてZOOMを使った遠隔授業を検討中
- ・マイクが備え付けられた教室については、管財課においてマイクなど確認をしておく
- ・附属高校の授業については、県教育長の指導に基づき、感染防止対策をとり、通常通り実施

■その他

- ・消毒液については、建物入り口に設置しているが、各フロアに1～2本設置できるようにする
- ・これまでの活動結果や今後の対応などを整理し、「感染対策マニュアル」を作成する
- ・外部団体からの施設借用については、先方へ施設利用時のコロナ対策について提出を求め、内容を確認して貸出の判断をする
- ・韓国休学中の学生がコロナの関係で前期を休学するが、休学在籍料免除の願いをコースが稟申する